

令和元年度 第1回 帯広市地域自立支援協議会 差別解消部会（代表者会議）
差別、合理的配慮に関するアンケート結果

アンケート回答率 84%（32件中27件回答）

問1 貴機関・団体における取り組みについてお聞かせください。

1) 差別解消や合理的配慮について何らかの取組みをされていますか。

(ア) 行っている…14件 (イ) 今後、行う予定…0件 (ウ) 検討中…1件
(エ) 今後、検討予定…11件 (※) 無回答…6件

2) 上記1)にて(ア)または(イ)と答えた方は、その取組みの具体的な内容をご記入ください。

- 事案があれば速やかに対応する。
- 本人希望を踏まえて視覚障害者のガイドヘルパーが代筆、代読をお願いする。
- 知的障害者に対する理解を深める啓発活動
- 皆諦めていると思う。障がい者の家族が子どもに対し差別している姿を見る。当事者も差別を感じている。行政の周知も無いから、差別の解消は実現されない。三障害の中でも精神は難しく、別々に扱われる。
- 必要のある、障害当事者に対して、法がある事とその内容を伝え、何が出来るか考えてもらうことを日頃行っています。
- 法人内の各種会議や障がい児者対象の事業実施の際は、手話通訳者を必要に応じて配置している。
- グリーンプラザ内の各会議室において補聴支援システム（磁器ループ）を整備している。
- 相談窓口において、ろう者や耳の聞こえが悪い方とのコミュニケーションツールとして電子メモパッドを整備している。
- 学校、市町村に対して行っている。研修をするときに含まれている。
- 相談支援事例の検討の過程で不合理対応ではないかについて検討することがある。
- 車椅子でご利用の際の乗降介助。車内の専用席の確保。
- 車椅子対応車両の導入を進めている。
- バスターミナルにおいてオストメイト対応トイレを設置している。
- 障害者専用駐車場の設置
- 窓口における丁寧な対応
- 労働相談において、障害の種類、程度に応じて適切な対応。
- 耳の悪い方への筆談対応
- 市役所刊行物にルビを振る
- 乳幼児健康診査時に聴覚障害の方に手話通訳者の派遣や筆談で対応している。また、連絡時にFAX対応している。
- 育児サークル交流会で手話サークルに参加している。聴覚障害の方に手話通訳者を派遣できるように予算を確保している。

3) 障害者差別解消推進事例集を活用されていますか。

- (ア) 活用している…9件 (イ) 今後、活用する予定…1件 (ウ) 活用していない…17件
(※) 無回答…8件

4) 上記3)にて(ア)または(イ)と答えた方は、その取組みの具体的な内容をご記入ください。

- 身障協会には3名の身体障がい者相談員を配置している。福祉ガイドに掲載。
- 障害福祉事業担当課の職員へ事例集の内容を周知した。
- 内閣府の合理的配慮事例とか、各対応要領などとともに帯広市の事例集も参考にし、合理的配慮の基準について考えることにしている。
- 本社からの指示による
- 弊社事業に関係する事例を教育指導担当者が講習時に事例を紹介している。
- 差別解消事例集のホームページ公開
- 合理的配慮の事例説明の際に活用
- ろうの方や障害特性により、説明、理解に時間が必要と判断される場合は、相談ブースや会議室などを活用し、個別に複数の職員で対応し、来庁者の困り事の理解が出来るよう努めている。
- 課内職員の情報共有による市民対応の向上
- 課内に備え付けており、いつでも閲覧、活用できるような状態。
- 当協会の隣に「帯広ろう者協会」の事務局がある。事務所の電話回線工事に際し、工事業者（NTT）が工事の実施時期等について伝言できなくて困って、当協会に相談にきた。当協会は手話対応ができないが、工事業者の要件を紙に記載し、等について伝言できなくて困って、当協会に相談にきた。当協会は手話対応ができないが、工事業者の要件を紙に記載し、伝えた。工事の仲介の窓口を当協会が何度か務め、工事が無事終了した。
- また、日頃から「帯広ろう者協会」とは情報の共有（紙での伝達ではあるが）に努めている。

問2 平成30年度中に、合理的配慮の提供事例がありましたら、情報提供をお願いします。

- H30年度ではないが、息子が徘徊中、警察に通報された。警察が本人に「親は誰だ！」と怒鳴った。「家から出さな」と言われた。借りている不動産屋から「きちがい」と言われた。
- 行政が積極的に周知啓発していないので、障害者の理解が浸透せず、地域に出れずに引きこもってしまう。本人が病院拒否していれば、相談先は警察しかなく、警察も困っていると思う。(安全課)
- 筋ジス、電動車いすの男性の就労が決まりました。職場＝受け入れて理解、通勤＝十勝バスが配慮、問題解消へ
- 公立高校進学時、進学後の合理的配慮義務機関の対応について、この件は知事に対して直接説明をした（7月18日道庁にて）
- 車椅子でバス通勤するお客様に対して事前体験講習を実施した。
- 会議室にろう者、中途失聴者が参加することが分かっている場合、通訳派遣の申請、通訳への原稿の事前提供、通訳がしやすい座席の確保などに努めている。
- 障害を持った方に説明する際にその表情や反応を見ながら、繰り返しの説明、図やパンフレットを使用し、何をしたらよいのか等、具体的な説明を行っている。

- 知的障がいや発達障がいの方への説明を口頭だけではなく、紙にわかりやすく書いて伝えている。

問3 日頃の生活や仕事の場面において、気づいたことや、感じたことについてお聞かせください。

(貴機関・団体所属の皆様のご意見もお聞かせください。)

1) 「差別的な対応」や「もっとこうしたら良かったのでは? (合理的配慮の不足)」と感じたことや見聞きしたことはありますか?

(ア) ある…8件 (イ) ない…18件 (※) 無回答…6件

2) 「良い対応、参考になる対応」や「よく工夫や配慮がされている」と感じたことや、見聞きしたことはありますか?

(ア) ある…9件 (イ) ない…19件 (※) 無回答…4件

3) 上記1)、2)にて、(ア)と答えられた方は、具体的なエピソードをお聞かせください。

(個人情報に差し支えない範囲でご記入ください。個人名等は記載しないでください。)

- 行政が現状を把握していない。学べば分かるはずなので、まずは上部の人の理解が必要。全体に理解が広がれば良い。
- 怒鳴った警察官が夜に謝りに来た事もあった。やはり「人」だと思う。住居も拒否され「うちで何とかするから、うちのマンションに入りな」と快く引き受けてくれた人もいた。慰めてくれた警察官もいた。
- 参議院会議場の対応。今後重度訪問介護利用者の就労等が認められることを強く願っています。
- 障害者差別解消推進事例集は大変参考になりました。
- 世間一般も教育も福祉でも特性が分からないので、理解得られないが多い。
- 日常的に気になっているのは、対人対応、態度、言葉に問題を感じるが多い。
- 選挙の投票や市役所での行政手続き等の際、本人(知的・精神障がいを持った方)確認の目的で手帳や健康保険証の提示を求められることがあった。(本人確認の方法によっては、本人に大きな精神的な負担があったとの事)